

エイジングケアの新たなステージを開く

「^{ビーエー}生命美」を追求する『B.Aリサーチセンター』発足

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:三浦卓士)は、30年にわたるバイオアクティブ理論を進化させ、エイジングケアの新たなステージを開くことを目的とし、「B.Aリサーチセンター」を本社研究所内に2015年4月15日付で発足しました。

当センターは、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラの最高峰ブランドであるエイジングケアライン「B.A」をさらに進化させる重要な役割を担っていきます。

発足の背景

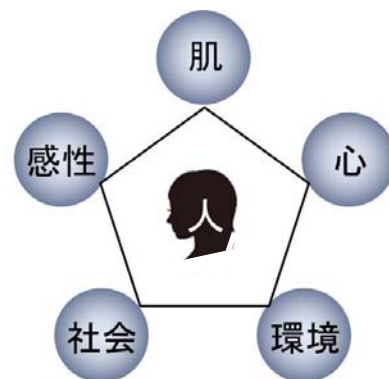
当社は「細胞の力が最大限に引き出されることで、ハリ・弾力のある若々しい肌を実現される」というバイオアクティブ理論に基づき、年齢と共に変化していく肌を長年研究してきました。その研究成果は、株式会社ポーラの最高峰ブランドであるエイジングケアライン「B.A」に注ぎ込まれています。

このたび、「B.Aリサーチセンター」を発足することで、革新的な生命科学研究に加え、文化や社会、環境などと、一人ひとりの女性との複合的な相互作用までを踏まえて、バイオアクティブ理論をさらに進化させ、「B.A」のコンセプトである「生命美」を具現化することを目指します。

「生命美」の実現に向けて

「生命美」とは、肌のみならず、生命活動そのものが輝いている状態と定義します。全ての女性が「生命美」を獲得するためには、従来の概念にとらわれない研究に取り組む必要があります。

そこで、「肌の年齢変化」を肌単独で起きている現象ではなく、「肌」以外にも「心」・「環境」・「社会」・「感性」が複合的に関連しながら生じる現象と捉えることで、新たなエイジングケアのステージが開けると考えています。



「B.Aリサーチセンター」の役割

従来の「肌」を中心とした研究に加え、「人」そのものを中心に据えたエイジングケア研究を推進するにあたり、当センターが中心となり、社内外のアライアンスの活性化を推進します。

一人ひとりの女性の心の在り方、環境や社会からの影響などを先端的な肌生理研究と有機的に組み合わせることで、「B.A」のさらなる進化に向けた重要な役割を担ってまいります。

また、グループ内の他の製品にも研究成果を積極的に応用し、高い技術で世界をリードするポーラ・オルビスグループの発展に貢献していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】 (株) ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543 (広報担当 伊藤 司)